

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスわんすてっぴ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月29日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年1月29日		～ 令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動について、毎月計画をたてスケジュール、ルールの明確化を図り、支援を行っている。	月別の行事の他、日々の活動や支援内容については、毎日ミーティングを行い、話し合う場を設けている。	充実できるような内容を検討し、目的や意図を明確にして取り組んでいる。
2	集団活動の中で画一的ではなく、特性・発達段階・家庭環境に応じた支援を行っている。	集団で活動できる場面が多い中で、個別の対応を行い、成功体験を積める場面を作っている。	集団での活動が難しい児童でも、少しずつ参加できるように取り組んでいる。
3	楽しみながら「できること」を増やす支援を行っている。	一人一人の強みに視点をあてながら、課題点を見つけ出し、出来るようになるための支援に力を入れている。	児童がお互いを認め合い、子ども同士で高め合えるよう取り組んでいる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者・兄弟の交流の場の開催が少ない。	親子での参加のイベントや、全利用児を対象としたイベントは行っていたが、その他の活動への参加・見学は少なかった。	全体的なイベントだけでなく、事業所単位での取り組みが必要。
2	ペアレントサポートしていくためには、保護者向けの研修会等の開催が必要。	研修会の日程調整が難しく、必要に応じて個別の面談で対応していた。	個別面談は継続しつつ、研修会が開催できるよう日程調整しながら取り組んでいく。
3	地域の子供達との交流を行っているが、保護者への情報発信が足りず、周知できていない。	通信やブログ等で発信し、活動の内容を伝えてはいるが、実際に行っている様子は見ていない。	紙面とSNSの情報発信を強化し、詳しくお伝えすると同時に活動の見学も促していきたい。